

児童・生徒の現状・課題

- ・与えられた課題に対しては着実に行うことができる。一方で、主体的に学習計画を立て、実行することに課題が見られる。
- ・与えられた学習方法の中から最適なものを選択したり、あるいは自身の特性や学習内容に応じて、主体的に学び方を選択したりについても、改善の余地がある。



学び続ける力を育むための重点目標

○児童が自ら学習計画を立て、多様な学習方法の中から最適なものを選択・構築する力を育み、生涯にわたって学び続ける自律的な学習者を育成する。



具体的な手だて①

- ・見通しをもって学習に取り組めるように、「学びマップ(仮)」として、単元の導入や授業の導入では、学びのアウトラインを視覚的に示し、学習を進められるよう、ミニホワイトボードを使う。

具体的な手だて②

- ・1つの授業で様々な活動を入れる。CAN(Classroom Activity Narusedai)(仮)として、読む、書く、聞く、話す、立つ、座る、歩く、クロムブックで調べる、絵をかく、文章で書くなど、児童も活動を選んで学習できるようにしていく。

具体的な手だて③

- ・活動の時間を十分に確保するために、教師は「わかりやすい指示や説明」に取り組む。また、活動時には教師は児童を見取るとともに、質問しやすいように「傾聴する声かけ」をしていく。



校内で共有し、授業改革を日常化するための工夫

- ・学級通信や教科通信を Classroom で共有し、互いの実践からより良い実践につなげられるようにする。
- ・校内研究の部門会を中心に「環境部門」「授業部門」「教師部門」としても2週間に1度以上集まり、3つの側面から推進していく。

児童生徒調査

肯定的回答の割合(%)	昨年度	目標(11月)	結果(1月)
①(E1)自分から進んで計画をたてて、学習している。	78.6	83.0	
②(E8)取り組むかだいや調べ方、話し合う相手や発表方法など、学び方を自分で選び、学習をすすめることができる。	87.6	92.0	

教員調査

肯定的回答の割合(%)	昨年度	目標(11月)	結果(1月)
①(A1)【学び続ける力】児童生徒が自分で計画を立てて学習をすすめる力を育むため、授業や家庭学習等において、手だてを講じたり、指導したりしている。	92.6	93.0 (意識や方法)	
②(A7)【選択する場面】授業では、学習課題や学習過程等、児童・生徒が学び方を選択する場面を設定している。	77.8	82.0	

総括(7月)

5月に実施した校内アンケートからは、授業内で「学習課題や学習過程等、児童生徒が学び方を選択する場面を設定しているか」について教員と児童間に意識の乖離があることが分かった。児童自身が見通しをもって学習に取り組み、情報の整理や表現方法を選択し、教師がそれらを支える構造が必要である。そこで、本年の校内研究では「学習環境の整備」「授業づくり」「教師の関わり方」の3観点で授業改革することとした。今年度は全学年の研究授業を通して全教員が授業力を高め、児童によりよい学びを実現できるようにしたい。

総括(1月)